



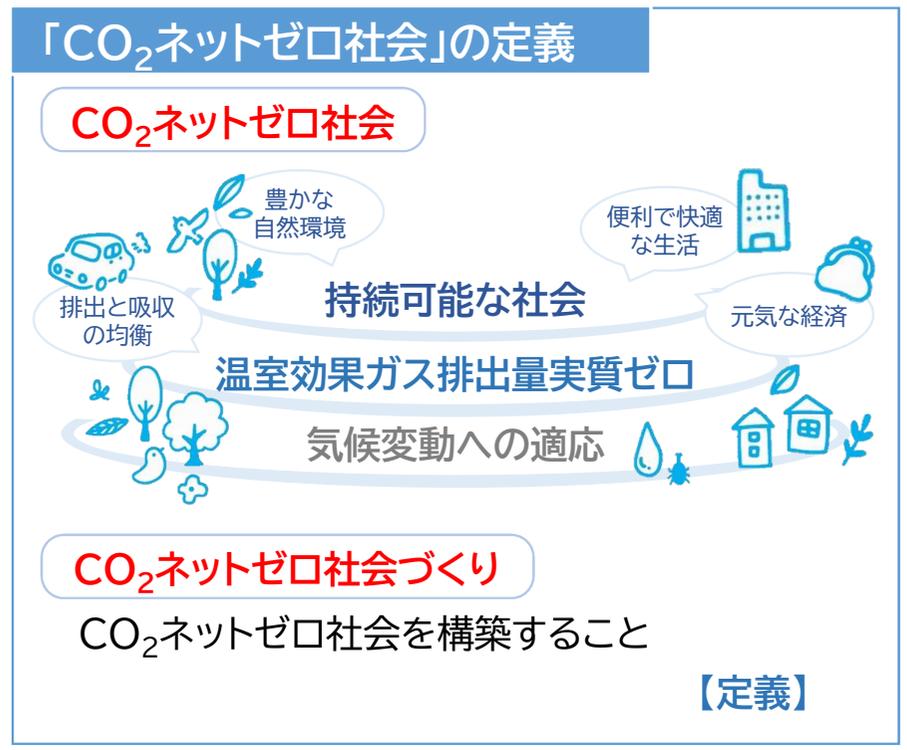
# 滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり審議会の概要

## ■概要

令和4年4月1日施行の「滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」に基づき、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに関する計画や施策等について、県民や外部有識者の意見を反映することを目的として、令和4年度から新たに設置。

### 「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり」とは

温室効果ガス排出量の削減などCO<sub>2</sub>ネットゼロに向けた取組とともに、その取組を通じて、地域や産業の持続的な発展にもつなげる「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会」を実現すること。



## ■ 審議会の設置



## ■ 経緯

CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに関する施策は、温暖化対策のみならずエネルギーや産業振興、土木交通政策など多分野に及ぶことから、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る社会政策を統合的に推進するため、今回新たに審議会を設置するもの。

## ■ 環境審議会との関係

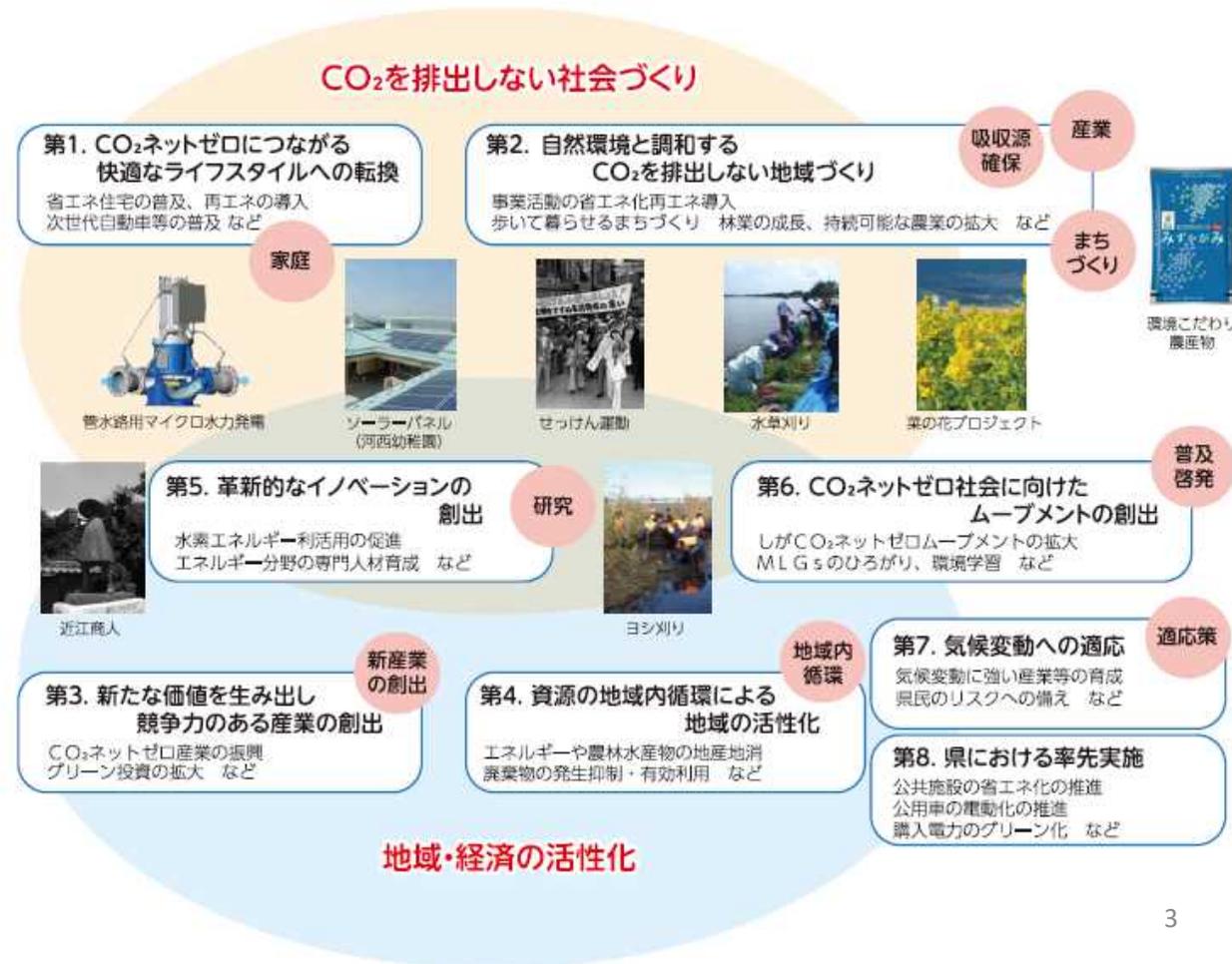
- ・CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに関する施策全般については、新たに設置するCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり審議会の審議事項とする。
- ・一方で、環境審議会で審議を行う「環境総合計画」では、気候変動への対応に関する施策の方向性を定めており、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画と整合を図りつつ、環境企画部会において、気候変動への対応を含めた環境の保全全般の基本事項を審議する。
- ・環境企画部会での環境総合計画の進捗状況の点検において、これまで通り、柱2「気候変動への対応・環境負荷の低減」の中でCO<sub>2</sub>ネットゼロに係る施策の進捗を報告する。

## ■ 主な審議事項

- ① 毎年度の推進計画の進捗状況と温室効果ガス排出量の報告
- ② CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの取組に関する事項(ムーブメントの創出、CO<sub>2</sub>ネットゼロ地域づくり、再生可能エネルギーの導入推進など)
- ③ 推進計画の改定(おおむね令和7年度をめどに中間見直しの予定)

### CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦(計画第4章より)

- ① CO<sub>2</sub>ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換
- ② 自然環境と調和するCO<sub>2</sub>を排出しない地域づくり
- ③ 新たな価値を生み出し競争力のある産業の創出
- ④ 資源の地域内循環による地域の活性化
- ⑤ 革新的なイノベーションの創出
- ⑥ CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出
- ⑦ 気候変動への適応
- ⑧ 県における率先実施



## ■委員(10名)により構成

氏名		主な職
秋山 道雄	氏	滋賀グリーン活動ネットワーク会長/ 滋賀県立大学名誉教授
浅利 美鈴	氏	京都大学地球環境学堂准教授
大塚 佐緒里	氏	公募委員
西藤 崇浩	氏	滋賀経済同友会代表幹事
嶋野 美知子	氏	株式会社伊吹山スロービレッジ取締役
高村 ゆかり	氏	東京大学未来ビジョン研究センター教授
田中 勝也	氏	滋賀大学経済学部教授
野村 昌弘	氏	栗東市長
濱田 琴美	氏	アストラゼネカ㈱執行役員オペレーション本部長/ アストラゼネカ米原工場代表
李 明香	氏	立命館大学理工学部准教授